

寄付

(6月30日受付分まで)

阿蘇市社会福祉協議会(香典返し)

寄付者	続柄	物故者	(行政区)
岩下 登士男	亡妻	文子	(北2区)
宮長 宝瑞	亡子	知新	(東2区)
甲斐 清孝	亡母	ケイ子	(古神1区)
竹石 花代	亡夫	貞治	(分1区)
山部 ケサヨ	亡夫	安廣	(分2区)
大森 ひとみ	亡母	末子	(原口)
甲斐 美千枝	亡夫	許義	(内牧2区)
渡辺 民枝	亡母	成瀬 美幸	(内牧5区)
日田 佳千代	亡夫	三二	(内牧5区)
小嶋 千賀子	亡母	タマエ	(湯浦)
井藤 弘美	亡母	トミ子	(下の原)
嶋田 トヨ子	亡夫	孝雄	(坊中)
塚本 伸一	亡母	トシ子	(下西黒川)
幸 ミヤ子	亡夫	徹	(永草)
園田 進一	亡母	ツヤ	(狩尾2区)

赤ちゃん

(6月30日受付分まで)

赤ちゃん	誕生日	パパ・ママ	(行政区)
中原 陽菜ちゃん	5月21日	大・明代	(赤水)
梅井 渚ちゃん	5月26日	貴視・生吹	(赤水)
飯島 陽菜ちゃん	5月27日	裕介・怜菜	(東2区)
岩下 晟ちゃん	5月30日	和輝・真唯	(分2区)
井手 徠斗ちゃん	6月9日	雄大・星	(蔵原)
清田 絆凧ちゃん	6月13日	知栄・香都希	(小里)
成嶋 海飛ちゃん	6月19日	計吾・圭子	(枳)

米寿

(昭和9年7月生まれ)

氏名	(行政区)	氏名	(行政区)
岩下 ツユ子	(東3区)	廣瀬 龍子	(原の口)
中村 幸典	(分1区)	笹木 晋	(蔵原)
平岡 トキエ	(桜町)	江藤 勝喜	(北黒川)
菅 てる子	(古城7区)	下村 ナセ	(乙姫)
蔵原 久子	(内牧2区)	内野 信子	(黒川千丁)
寺川 恵美子	(内牧4区)	山本 スエ子	(黒川千丁)
川上 ミエ子	(宇土)	中川 實	(狩尾2区)
井野 サイ	(鷲の石)		

人の動き

(2022年6月30日時点)



	人口	(男性)	(女性)	世帯
人数・世帯数	24,914人	11,769人	13,145人	11,584世帯
前月比	3人減	24人減	21人増	28世帯増

(6/1 ~ 6/30)

出生	死亡	転入	転出
7人	35人	125人	122人

結婚

(6月30日受付分まで)

夫	妻	(行政区)
池崎 大智	片山 寛子	(古神3区)
瀬井 聡	井 麻優香	(古城2区)
西内 涼輔	後藤 裕理	(成川)
松田 和大	金田 弓枝	(坊中)
荒井 伽仁	吉田 華子	(狩尾3区)

あなたの健康が
大好きです

医療法人社団 坂梨会 みずあさぎ・宝泉郷 ☎ 0967-32-1523・0967-32-5488

広告



新着案内

『ごみを出さない気持ちのいい暮らし』

高砂 雅美 ほか 著 (家の光協会)

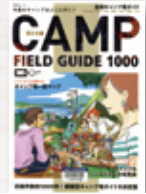
ごみを減らしたい。でも、どうしたらいい？
ごみ日記をつける、リターナブルびんの調味料を使う、洋服は定番を長く着るなど、暮らしの中で実践していることを紹介する。



『全国キャンプ場ガイド 2022 西日本編』

(昭文社)

東海・北陸・関西・中国・四国・九州のキャンプ場をロケーション、利用条件、場内施設、周辺レジャーなどの情報とともに紹介する。



『ウルトラマンをさがせ!!』

(講談社)

怪獣の大軍団があらわれた！宇宙を守るため、ウルトラヒーローたちが集結。たくさんのキャラクターのなかから、ウルトラマンや怪獣を見つけだそう。



『すいかごろごろ』

すとう あさえ 文 北村 裕花 絵 (ほるぷ出版)

暑い夏の日、おじいちゃんから、男の子のおうちに、大きなすいかが届きました。さっそく、冷たいお水で冷やして、お母さんに切ってもらって…。



『冷凍食品アレンジレシピ大全 123品 + ∞』

タケムラ ダイ 著 (宝島社)

シュウマイがホットドックに、エビピラフがスープに、お弁当用グラタンがメンチカツに…。定番メニューが超時短で作れる、冷凍食品 + 1 食材のアレンジレシピ。



『任侠楽団』

今野 敏 著 (中央公論新社)

ヤクザの親分・阿岐本のもとに、公演間近のオーケストラの経営再建の話が舞い込んだ。代貸の日村はコンサルティング会社の社員を装うが、指揮者が襲われ…。



移動図書館

阿蘇・一の宮地区 (8月5日金・9月2日金)

西役犬原公民館	10:00 ~ 10:10	赤水駅前	11:15 ~ 11:25
▼		▼	
竹原公民館	10:15 ~ 10:30	宮本酒店前 (車帰)	11:35 ~ 11:45
▼		▼	
坊中公民館前	10:40 ~ 10:55	坂梨公民館	15:15 ~ 15:25

波野地区

(8月10日 日・9月7日 日)

波野保健福祉センター
11:20 ~ 11:30

※天候や道路状況により巡回を中止する場合がありますのでご了承ください。

塗装・防水工事・メンテナンス

 株式会社 井上

〒869-2302

熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <https://www.aso-inoue.com/>

E-mail info@aso-inoue.com



塗装内容

(屋根・壁・破風板・軒天・塀・建具・他)

防水内容

(雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他)

— まずは、お見積を —

もしもし 0967-32-1501

「黒牛の赤ちゃんが産まれた」

阿蘇小学校 6年
川瀬 正暉

朝五時。親牛の「モオ。」という声はずっと聞こえるので、目が覚めました。起きてすぐにとりの部屋に行って、かんしカメラを見ると、お父さんとお母さんが牛の運動場で何かをしています。よく見えなかったのですが、カメラの近くに行ってみると、牛が産産をしていました。ぼくはあわてて、タンスのところへ行き、着がえました。そして、走って牛の運動場へ行きました。その後におばあちゃんも起きて運動場に来ました。

「一輪車、持ってこい。」と言ったので、ぼくは走って下の牛小屋に取りに行きました。お父さんに一輪車をわたすと、次に出産を見守っていたおばあちゃん、

「ハウスから牛ふくタオルを持ってきてえ。」

と言いました。ぼくは、道路の右左右を見て、走ってハウスにタオルを取りに行きました。タオルを取って、牛の運動場にもどると、もう、お父さんとお母さんは、牛の赤ちゃんの足を引っ張っていました。おばあちゃんは、牛の赤ちゃんが地面に落ちないように、一輪車で待っていました。ぼくは、近くにいて、手を合わせて（無事に産まれましように）とお願ひしました。牛の赤ちゃんの体半分が出てきて、おばあちゃんが一輪車を赤ちゃんが落ちてくる場所に置いたその時、黒牛の赤ちゃんが産まれました。

赤ちゃんが産まれてから、牛の赤ちゃんを木につりさげて口の中に入ったよいうすいを出し、わらが置いてあるところに牛の赤ちゃんを置き、おばあちゃんといっしょにタオルで体のすみずみまでふきました。そのとき、牛の赤ちゃんがぶるぶるふるえていたので、（寒そうだな）と思いました。そのころ、お父さんは、産まれた牛の赤ちゃんのためにミルクを作っていました。お父さんが、

「ボールに入ったミルクをこぼさんごっしっかり持つとけえ。」

と言いました。ぼくは、牛の近くでミルクをこぼさないようにしっかり持つていました。顔をのぞきこむと、牛の赤ちゃんは少しづつミルクを飲んでいました。

ミルクを飲み終わらせた後に、赤ちゃんが入る小屋を木で作りました。小屋の中に、のこくずとわらをしきつめて、赤ちゃんをその

小屋にうつしました。そして、お母さんが、

「いっしょに下の牛小屋にえさをやろう。」

と言ったので、ぼくは、「うん。」

と言いました。お母さんは、かまでえさを取り、ぼくは、スコップでえさをおしていきました。親牛にえさをやると、たくさん食べていました。次に、お母さんと上の牛小屋にえさやりをしに行きました。輸入牧草をほぐして、子牛にあげました。子牛も親牛に負けないくらいたくさん食べていました。

えさやりが終わり、昼ご飯のそうめんをいっぱい食べました。そして、牛の赤ちゃんをさわりに行きました。頭をさわろうとしたら、手をなめられました。その時、手がくすぐったかったです。目がくりくりして、ずっとぼくのことを見ていたので（かわいい）と思いました。そして、また飼っている全ての牛にえさやりをしました。ぼくが他の牛にえさを運んでいると、産まれた赤ちゃん牛が、ずっとぼくの方を見ていて、ぼくはうれしくなって少し笑いました。

先生からのコメント

人の気持ちを考えて行動することや、周りを見て気を利用させて行動することが自然とできる正暉さん。困っている友達がいると、必ず寄り添って、力になっていきます。新学期になってすぐに、「ぼくは人前で発表したり、自分から話しかけたりすることが苦手です。」と教えてくれましたが、運動会では全校児童の前で、

堂々とした態度で終わりの言葉を宣言することができました。また、毎日の日記の中には、牛のえさやりのこと、ミルクやりのこと、堆肥出しのこと、お父さんとお母さんの仕事のことなど、嬉しそうに書いています。学級の子どもたちも、一分間スピーチなどで正暉さんの発表を聞く中で、家の仕事を頑張っている正暉さんのことを尊敬しています。

中江神楽殿

私たち ASO 田園空間博物館は、「阿蘇の魅力」を、そこに住む人々と共に発掘し、この地を訪れる人々にそれを伝えることでこの地の新しい未来を創造していく」という活動を続けてきました。

その中で活動の主軸となっているのが地域資源である「サテライト」です。現在、96のサテライトが登録されており、市民の皆さまとともに将来につないでいくための活動を行っています。

今回は、サテライト No60「中江神楽殿」をご紹介します。

2

00年以上前から、波野の中江地区に

伝わる神楽。中江岩戸神楽保存会では、33座の神楽を郷土芸能として伝承しています。神楽には楽譜や資料がありません。笛、カネ、太鼓にびったり呼吸を合わせた舞。音に強弱をつけて派手に打ち鳴らされる太鼓。こうした一つ一つの舞や演奏は、言葉と体で伝えられてきました。

保存会では、毎月第1日曜日に中江神楽殿で定期

公演を行っています。公演では33座ある舞の中から毎回5座を披露。この日は、神楽の将来を担う小学生による五方礼始ごほうれいしから始まり、朝倉返あさくらがえし、柴曳しばひき、天のメてんしめ、八雲やくもぼらいの5座が披露されました。柴曳では舞手が赤ちゃんや子供を抱き上げる場面もありました。神楽では赤ちゃんや子供を抱いてもらい、健やかな成長を願うという風習があります。子供を抱き上げてもらいたい親と、その気持ちとは裏腹に舞手から逃げようとす

る子供。対照的な姿が観客の笑顔を誘います。ダイナミックな舞や息もつかせぬ展開にあつという間の3時間でした。

この日の公演に先立って「神楽男子」もお披露目されました。神楽男子は保存会の中学生から社会人までの若手メンバー8人で構成。神楽を盛り上げ、地域の魅力を発信しようと結成されました。

メンバーたちは幼い頃から

笛や太鼓、鐘の音を聞きながら成長してきました。平成12年には波野小学校子ども神楽部が発足。子供たちも日々、神楽の練習に励んでいます。メンバーの Daichi さんもその1人。保存会の佐藤会長を祖父に持つ Daichi さんは、幼いころに見た神楽を舞う祖父の姿をずっと追いかけてきました。「じいちゃんみたいなヒーローになりたい!」。そう言っていた少年も今では大人に。堂々と神楽を舞い、成長した姿を見せています。

そんな先輩たちの姿を見てこれから育っていく波野の子供たち。大人になったらこの場所でさらに見事な舞を見せてくれるでしょう。

先輩たちが受け継いできた神楽を神楽男子が後輩たちに引き継いでいく。そうして中江岩戸神楽の舞が100年、200年と継承されていくことを願っています。



▲ 保存会の佐藤会長



▲ 神楽男子のメンバー



▲ 神楽のダイナミックな舞